7月24日　講座
『フルートとオーボエの世界』

本日の出演者

石井 雅美さん
鷹取 友美さん

- 《鷹取 友美プロフィール》
（オーボエ）

- 大阪府出身。
- 4歳よりピアノ、12歳からオーボエを始め学生時代は吹奏楽部に所属。
- 1994年より尼崎市民交響楽団に所属し現在に至る。
- 2009年に木管五重奏団アマ･ペルテを結成し、病院や老人ホーム、保育園や教会等で関西を中心に演奏活動をしている。
- 2012年に関東に移住してからは、浦和フィルハーモニー管弦楽団に所属。
- 関東でも老人ホームやディサービス、保育園等で演奏し、精力的に演奏活動をしている。
- 現在、大森悠氏に師事。

- 《石井 雅美プロフィール》
（フルート）

- 武蔵野音楽大学器楽学科卒業。
- 中学校教諭、高等学校教諭免許取得。
- これまでにフルートを、関根一彦、植村泰一、梅津正好、高久進各先生に師事。
- コンサートホールでの演奏の他、学校行事、公民館、老人ホーム等の慰問、レストラン、お店での催しやパーティー、結婚式等幅広く活動。
- 埼玉県内において地域に密着した演奏活動を志し、アウトリーチ、ボランティア活動を積極的に行っている。日本演奏連盟、さいたま市音楽家協会に所属。
- 使用楽器　ヘルムートハンミッヒ。

第１部

《アンサンブル》

1. 愛の挨拶
2. フライ・トゥー・ザ・ムーン
3. スカボロ・フェアー
4. サウンド　オブ　サイレンス

《ソロ　ピアノ　CD》

5. 天城越え
6. 愛の賛歌
7. 翼をください　※入れ替えて

《アンサンブル　CD》

8. ニューシネマパラダイス
9. 夢やぶれて
10. アマポーラ

第２部　　いっしょに歌いましょう

1、見上げてごらん夜の星を

【作詞】永　六輔　　【作曲】いずみたく

見上げてごらん夜の星を
小さな星の小さな光りが
ささやかな幸せをうたってる

見上げてごらん夜の星を
ボクらのように名もない星が
ささやかな幸せを祈ってる

手をつなごう　ボクと
おいかけよう　夢を
二人なら　苦しくなんかないさ

見上げてごらん夜の星を
ボクらのように名もない星が
ささやかな幸せを祈ってる

2、昴　【作詞･作曲】谷村新司

目を閉じて　何も見えず
哀しくて　目を開ければ
荒野に　向かう道より
他(ほか)に　見えるものはなし
嗚呼(ああ)　砕け散る　運命(さだめ)の星たちよ
せめて密(ひそ)やかに　この身を照らせよ
我は行く　蒼白き頬のままで
我は行く　さらば昴よ

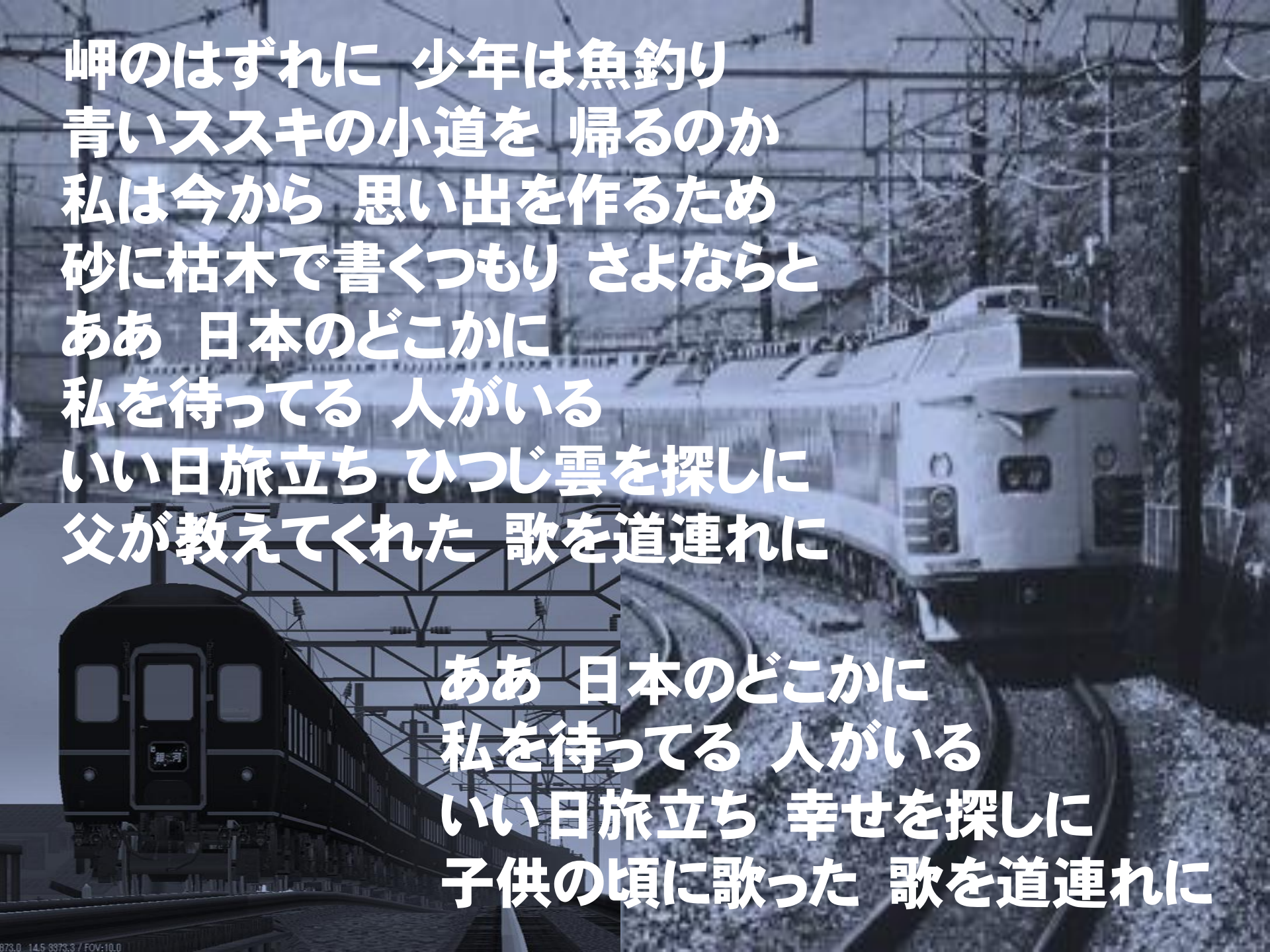
呼吸(いき)をすれば　胸の中
凩(こがらし)は　吠(な)き続ける
されど　我が胸は熱く
夢を　追い続けるなり
嗚呼　さんざめく　名も無き星たちよ
せめて鮮やかに　その身を終われよ
我も行く　心の命ずるままに
我も行く　さらば昴よ

我は行く　さらば昴よ
我は行く　さらば昴よ

3、いい日旅立ち

【作詞・作曲】谷村 新司

雪解け間近の 北の空に向い
過ぎ去りし日々の夢を 叫ぶとき
帰らぬ人たち 熱い胸をよぎる
せめて今日から一人きり 旅に出る
ああ 日本のどこかに
私を待ってる 人がいる
いい日旅立ち 夕焼を探しに
母の背中で聞いた 歌を道連れに



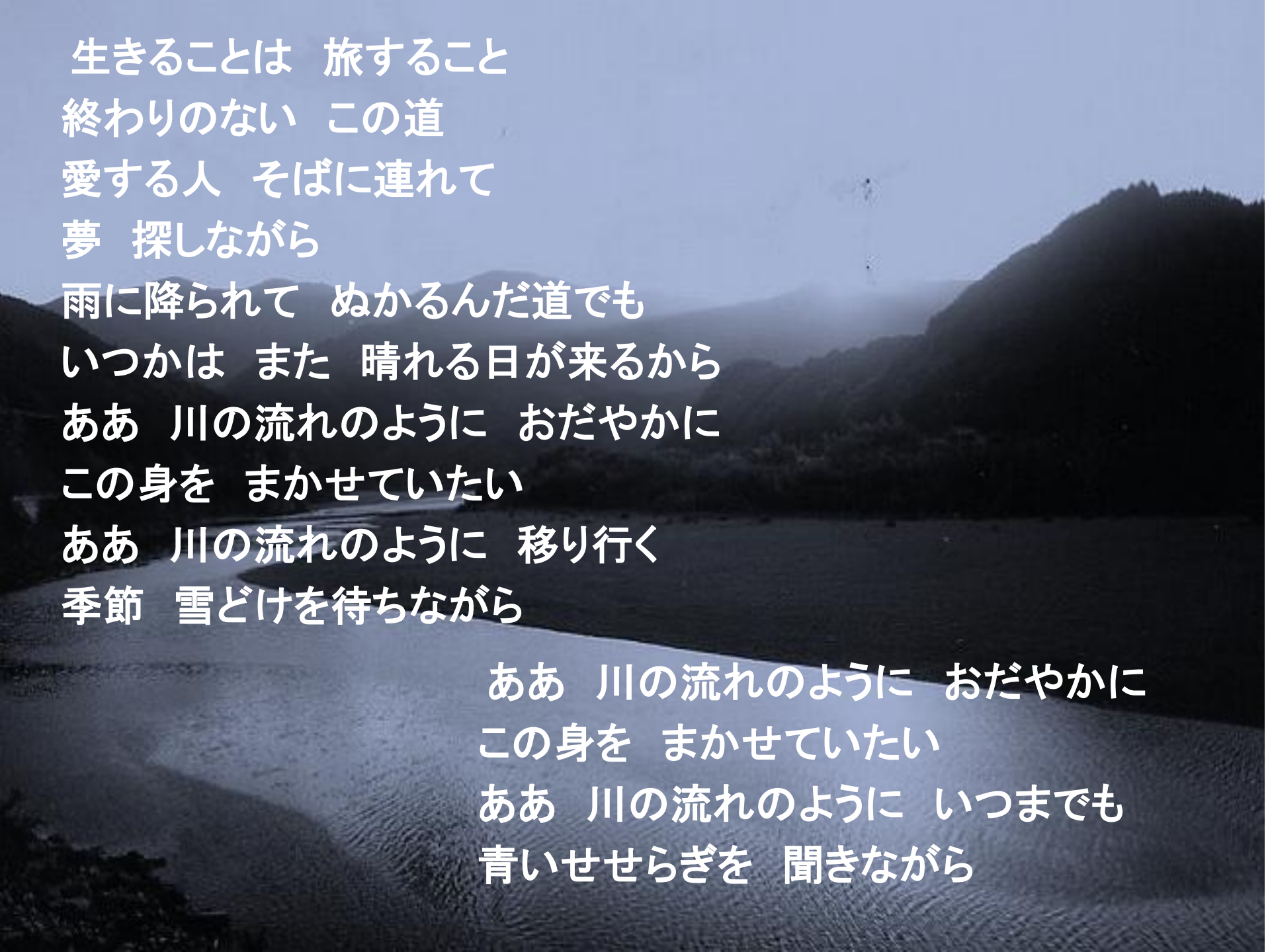
岬のはずれに 少年は魚釣り
青いススキの小道を 帰るのか
私は今から 思い出を作るため
砂に枯木で書くつもり さよならと
ああ 日本のどこかに
私を待ってる 人がいる
いい日旅立ち ひつじ雲を探しに
父が教えてくれた 歌を道連れに

ああ 日本のどこかに
私を待ってる 人がいる
いい日旅立ち 幸せを探しに
子供の頃に歌った 歌を道連れに

4、川の流れの様に

【作詞】秋元康【作曲】見岳章

知らず知らず　歩いてきた
細く長い　この道
振り返れば　遥か遠く
故郷（ふるさと）が見える
でこぼこ道や　曲がりくねった道
地図さえない　それもまた人生
ああ　川の流れのように　ゆるやかに
いくつも　時代は過ぎて
ああ　川の流れのように　とめどなく
空が黄昏（たそがれ）に　染まるだけ



生きることは　旅すること
終わりのない　この道
愛する人　そばに連れて
夢　探しながら
雨に降られて　ぬかるんだ道でも
いつかは　また　晴れる日が来るから
ああ　川の流れのように　おだやかに
この身を　まかせていたい
ああ　川の流れのように　移り行く
季節　雪どけを待ちながら

ああ　川の流れのように　おだやかに
この身を　まかせていたい
ああ　川の流れのように　いつまでも
青いせせらぎを　聞きながら

5、学生時代

【作詞・作曲】平岡精二

つたのからまるチャペルで　祈りを捧げた日
夢多かりしあのころの　思い出をたどれば
なつかしい友の顔が　ひとりひとり浮かぶ
重いカバンを抱えて通ったあの道
秋の日の図書館の　ノートとインクのにおい
枯葉の散る窓辺　学生時代

6、北上夜曲

【作詞】菊地規　【作曲】安藤睦夫

(一)【男】

匂い優しい　白百合の
濡れているよな　あの瞳
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　月の夜

(二)【女】

宵の灯(ともしび)　点(とも)すころ
心ほのかな　初恋を
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　せせらぎよ

(三)【男】

銀河の流れ　仰ぎつつ
星を数えた　君と僕
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　星の夜

（四）【女】
春のそよ風　吹くころに
楽しい夜の　くちづけを
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　愛の歌

（五）【男】
雪のチラチラ　降る宵に
君は楽しい　天国へ
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　雪の夜

（六）前半【男】後半【男女】
僕は生きるぞ　生きるんだ
君の面影　胸に秘め
思い出すのは　思い出すのは
北上河原の　初恋よ

7、鈴懸の径

【作詞】佐伯孝夫【作曲】灰田有紀彦

（1）友と語らん　鈴懸の径
　通いなれたる　学舎(まなびや)の街

　やさしの小鈴　葉陰に鳴れば
　夢はかえるよ　鈴懸の径

（2）　（演奏のみ）

　やさしの小鈴　葉陰に鳴れば
　夢はかえるよ　鈴懸の径

9、琵琶湖周航の歌　【作詞】小口太郎　【作曲】吉田千秋

1　われは湖(うみ)の子　さすらいの
旅にしあれば　しみじみと
昇る狭霧(さぎり)や　さざなみの
志賀の都よ　いざさらば

2　松は緑に　砂白き
雄松が里の　乙女子は
赤い椿の　森陰に
はかない恋に　泣くとかや

3　波のまにまに　漂えば
赤い泊火(とまりび)　懐かしみ
行方定めぬ　波枕
今日は今津か　長浜か

4　瑠璃の花園　珊瑚の宮
古い伝えの　竹生島
仏の御手に　抱かれて
眠れ乙女子　やすらけく

5　矢の根は深く　埋(うず)もれて
夏草しげき　堀のあと
古城にひとり　佇めば
比良も伊吹も　夢のごと

6　西国十番　長命寺
汚れの現世(うつしよ)　遠く去りて
黄金(こがね)の波に　いざ漕がん
語れ我が友　熱き心

9、365日の紙飛行機

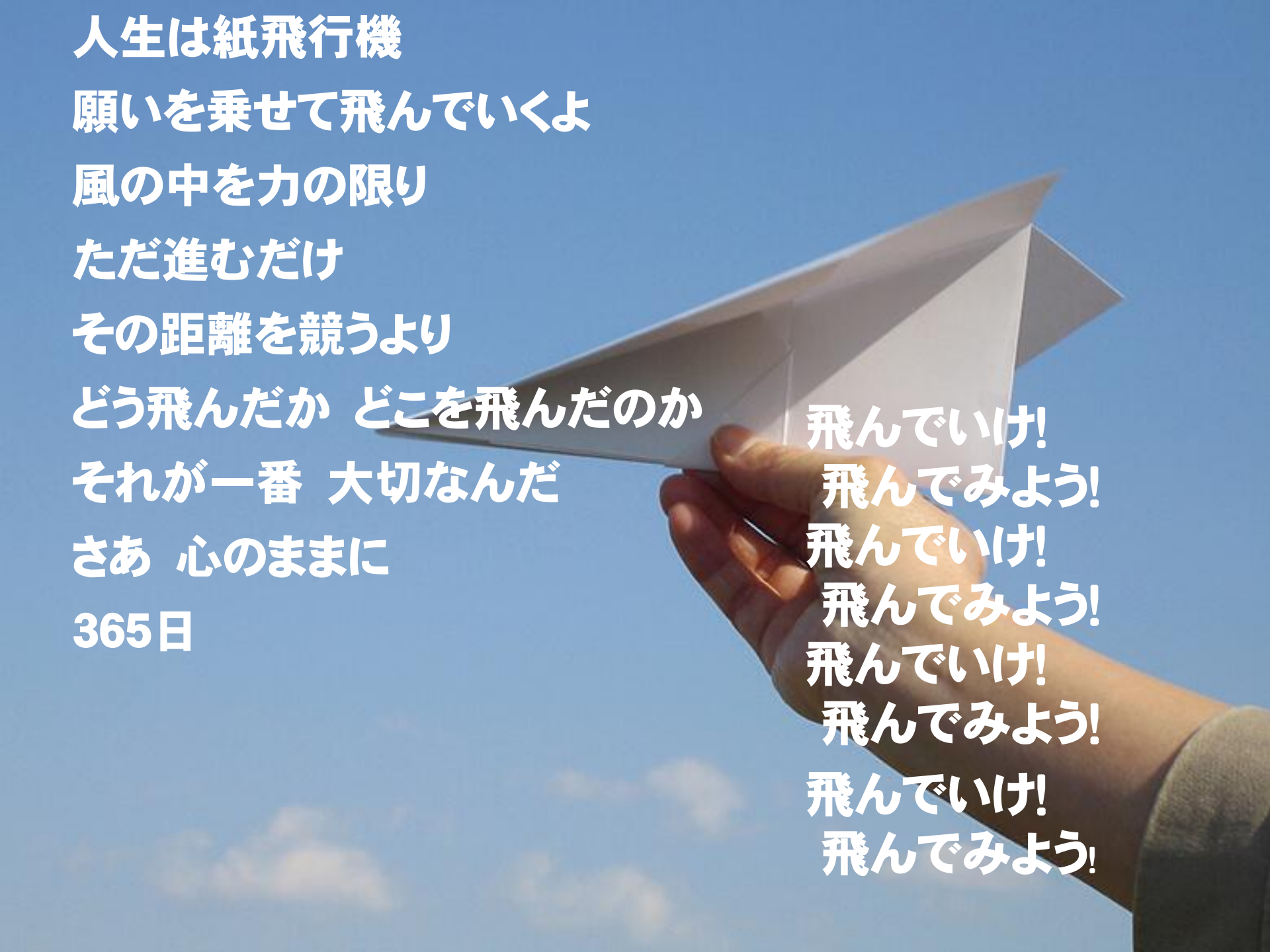
【作詞】秋元康 【作曲】角野寿和・青葉紘季

朝の空を見上げて
今日という一日が
笑顔でいられるように
そっとお願いした

時には雨も降って
涙も溢れるけど
思い通りにならない日は
明日頑張ろう

ずっと見てる夢は
私がもう一人いて
やりたいこと 好きなように
自由にできる夢

人生は紙飛行機
願いを乗せて飛んでいくよ
風の中を力の限り
ただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番 大切なんだ
さあ 心のままに
365日



飛んでいけ!
飛んでみよう!
飛んでいけ!
飛んでみよう!
飛んでいけ!
飛んでみよう!
飛んでいけ!
飛んでみよう!

12期の歌（校歌）

1. 緑 かがやく この街で
われら 集い 学びあう
見果てぬ夢を 追いかけて
笑顔明るく いつまでも
シニア大学 東浦和校
その名も高き12期生

2. 風 爽やかな この街で
われら 共に 歩みだす
輝く 明日に 向かって
振り返らずに 今を生きる
シニア大学 東浦和校
その名も高き12期生
その名も高き われら 12期生

石井雅美さん

鷹取友美さん

今日は有難うございました